

CASBEE[®]広島

(2010年ver. 1)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE広島 2009年版

■ベース評価ソフト: CASBEE-NCb_2008(v.3.2)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)十日市マンション計画	階数	地上15F
建設地	広島県広島市中区十日市町一丁目2-9	構造	RC造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	245 人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2011年11月 予定	評価の実施日	2010年4月8日
敷地面積	934 m ²	作成者	株式会社U建築設計事務所 柴崎 和彦
建築面積	560 m ²	確認日	
延床面積	6,450 m ²	確認者	



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.5 ★★★★★☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B-: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 大項目の評価(レーダーチャート)

2-3 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 3.0

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.2

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.0

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.7

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.6

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.8

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.5

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.5

3 広島市の重点項目

重点項目の総平均スコア = 3.4

「地球温暖化対策」の推進	「ヒートアイランド対策」の推進	「長寿命化対策」の推進
スコア = 3.6	スコア = 2.3	スコア = 3.3
設計の計画上特段に配慮した事項 住宅性能評価 省エネ対策等級3を確保。住戸開口部に複層ガラスA12を採用。// 燃焼系潜熱回収型給湯器を採用。// 節水型便器、浴室・キッチンには節湯水洗の採用。// 可能な限りCO ₂ の排出を削減。	設計の計画上特段に配慮した事項 広島市緑化推進制度の緑化率を確保。// 適切な駐車・駐輪スペースを確保。	設計の計画上特段に配慮した事項 住宅性能評価 劣化対策等級3を確保。// 住戸内給水はさや管工法・排水管のコンクリート埋込なしとし、設備のメンテナンス・更新が可能なレベルを確保する。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される